

大槌発

ネパールの放送局



今年4月の地震で9千人の犠牲者を出すなど甚大な被害が発生したネパールから、民間放送局「イメージチャンネル」の取材スタッフ3人が大槌町を訪れ、東日本大震災の経験と教訓を取材しました。スタッフは「地震に対する備えなど日頃から報道に努めていれば人的な被害を抑えられたのでは」と考え、今回の日本取材となりました。大槌では震災直後に避難所となった施設や町役場を訪れ、津波の様子や復興の状況、津波から身を守るための言い伝えや教育についてインタビュー取材を行いました。(11/18 ニュースエコー)

東日本大震災の経験と教訓を取材しました。スタッフは「地震に対する備えなど日頃から報道に努めていれば人的な被害を抑えられたのでは」と考え、今回の日本取材となりました。大槌では震災直後に避難所となった施設や町役場を訪れ、津波の様子や復興の状況、津波から身を守るための言い伝えや教育についてインタビュー取材を行いました。(11/18 ニュースエコー)

盛岡発

避難生活者の作品展

東日本大震災で被災し盛岡で避難生活を送る人たちの写真や手芸を集めた展示会が盛岡市西部公民館で開かれました。作品展を主催したもりおか復興支援センターでは、避難生活を送る人たちに趣味と交流の場を持ってもらおうと、写真、折り紙、手芸品の3つのサークルを運営しています。会場にはサークル参加者の作品1800点ほどが並びました。(11/19 ニュース)



宮古発

まちびらき記念式

東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けた宮古市田老地区で、地域住民350人が出席して「まちびらき記念式」が行われました。田老地区では高台移転先の161区画の宅地造成と、旧市街地の220戸の区画整理が概ね終わり、住宅の建設も始まっています。高木毅復興大臣も現地を視察し「今後はソフト面の復興が重要。国としても支援を継続する」と述べました。(11/22 ニュース)



大槌発

旧役場庁舎解体問題

解体か保存かで意見が分かれている津波で被災した大槌町の旧役場庁舎問題で、住民説明会が開催されました。平野公三町長と町民ら



希望者およそ100人が出席しましたが、この場でも保存と解体に意見が分かれました。平野町長は説明会終了後、「解体する考えに変わりはない」と話しました。今月30日に開かれる予定の議員全員協議会であらためて解体の意思を示すとみられています。(11/23 ニュースエコー)

宮古発

陸 三陸鉄道復旧企画展



震災の津波で甚大な被害を受け、去年全線復旧を果たした三陸鉄道の足跡を紹介する企画展が、宮古市で開かれています。企画展は宮古市立図書館が企画したもので、会場には三陸鉄道の社員が撮影した写真や三鉄を紹介した本など合わせて100点余りが展示されています。三陸鉄道の復旧は被災地の象徴でもあります。企画展は今月27日まで行われています。(11/23 ニュースエコー)



陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、陸前高田災害FMの大久保暢子さんと陸前高田市防災局・消防防災センター所長の佐藤由也さんに、11月8日(日)に行われた津波避難訓練について伺いました。震災後では初の取り組みで、避難経路・避難場所の確認と避難所開設訓練を主目的として行われ、1200人余りの市民が参加しました。今後の対策については訓練の成果と反省点を踏まえ、関係団体と協議していくとのことです。(11/25)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122